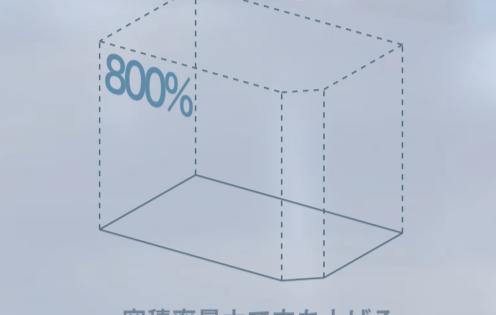


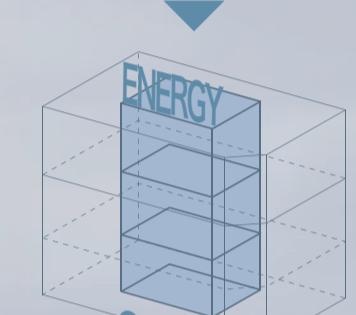
# SHINBASHI SO-LARIS JUNCTION

「藻」による都市の新たなネットワーク

## 00 形態ダイアグラム



容積率最大で立ち上げる



藻類施設をコアに建築に求める機能にリンクし垂直に分割



建物を波形化し藻類育成の表面積を拡大



藻の生産施設と物流・生産・消費をつなぐ



## 05 PRODUCE 藻類活用計画 - 藻類が可能にする都市空間の資源生産

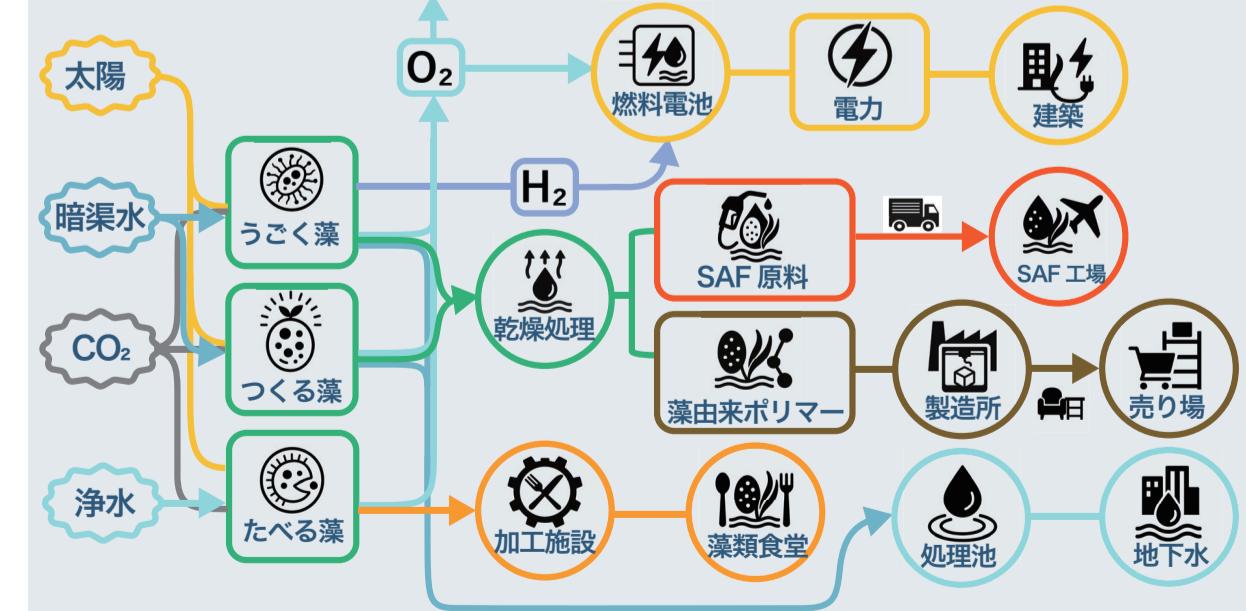
本提案では、用途別に3種類の藻を導入する。

これで3種類の藻を相互に結びつけ、新たなネットワークを形成し、新橋の潜在的な可能性を拡張する。

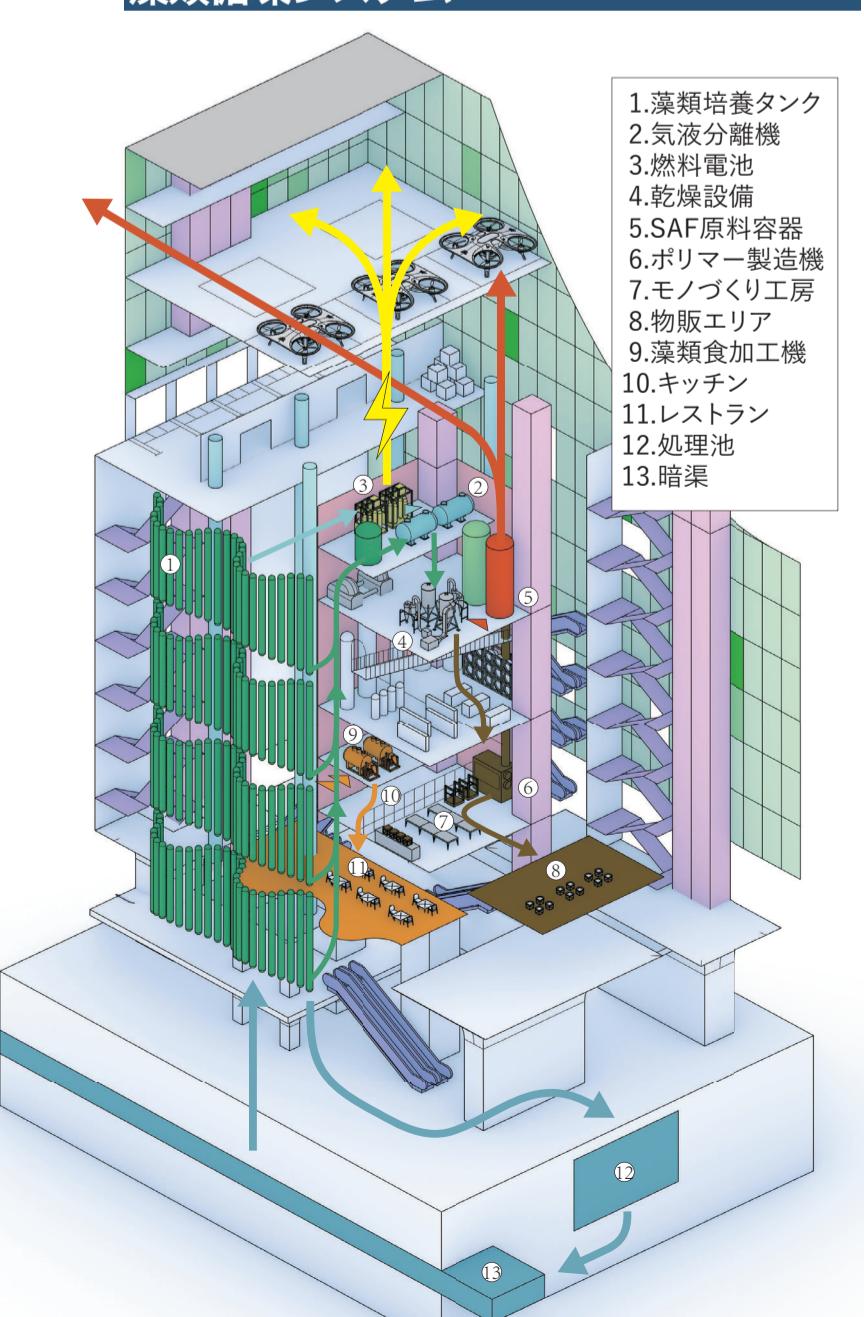
**ENERGY - 動くための藻** 水素を生産し、燃料電池を介して発電する。

**MANUFACTURE - 作るための藻** 抽出したポリマーを用い、3Dプリントで製作する。

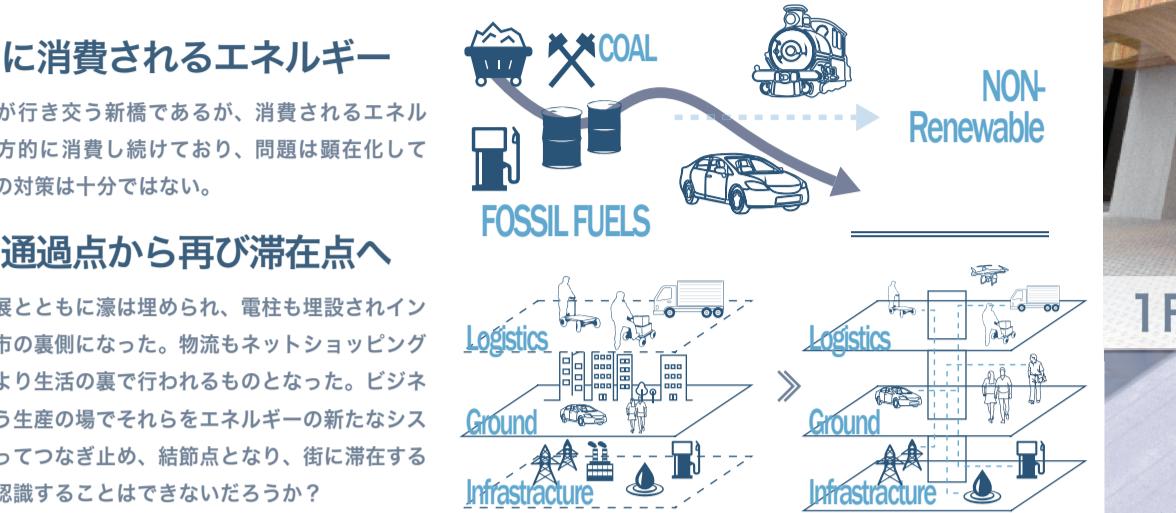
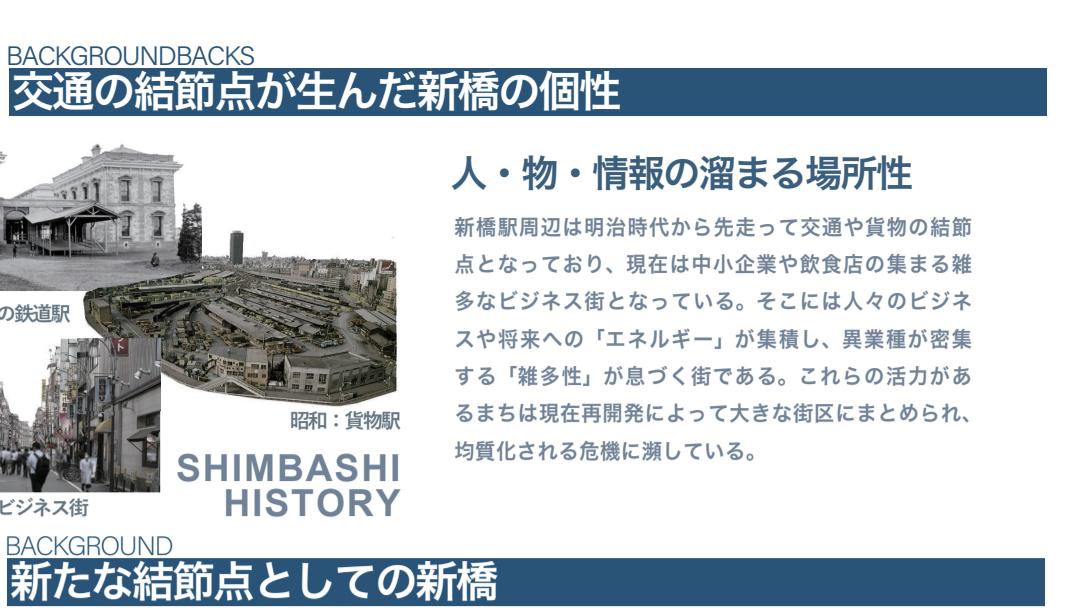
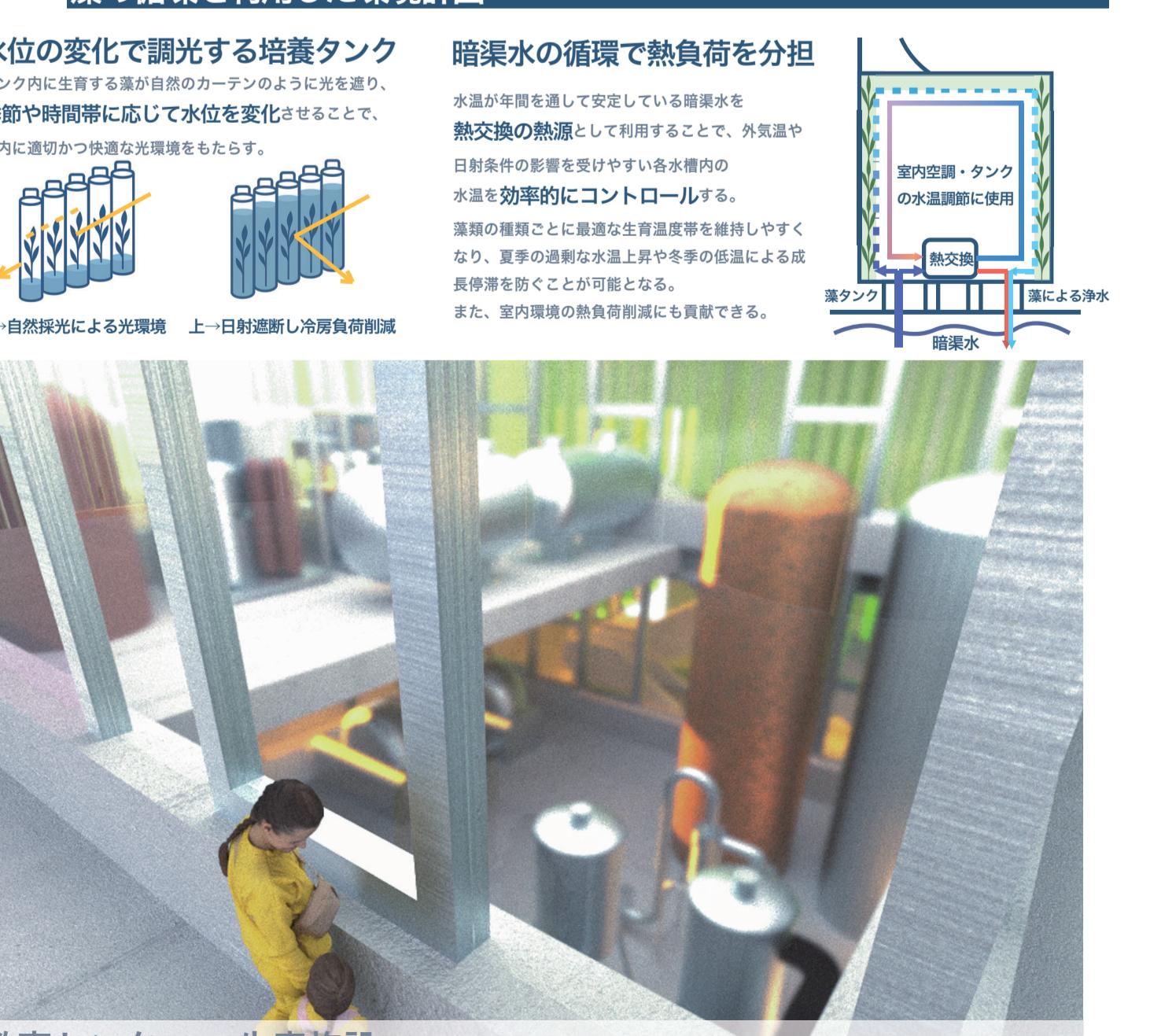
**CONSUME - 食べるための藻** 簡単な加工で藻類食として利用できる。



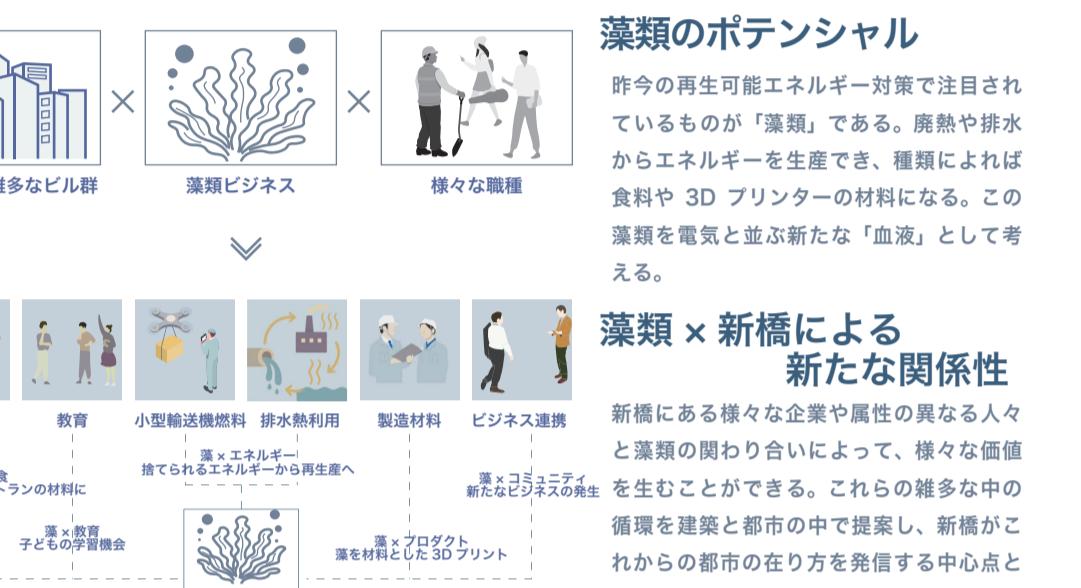
## 06 SYSTEM 藻類循環システム



## 07 ENVIRONMENT 藻の循環を利用した環境計画



## 03 PROGRAM 藻によって生まれる恩恵



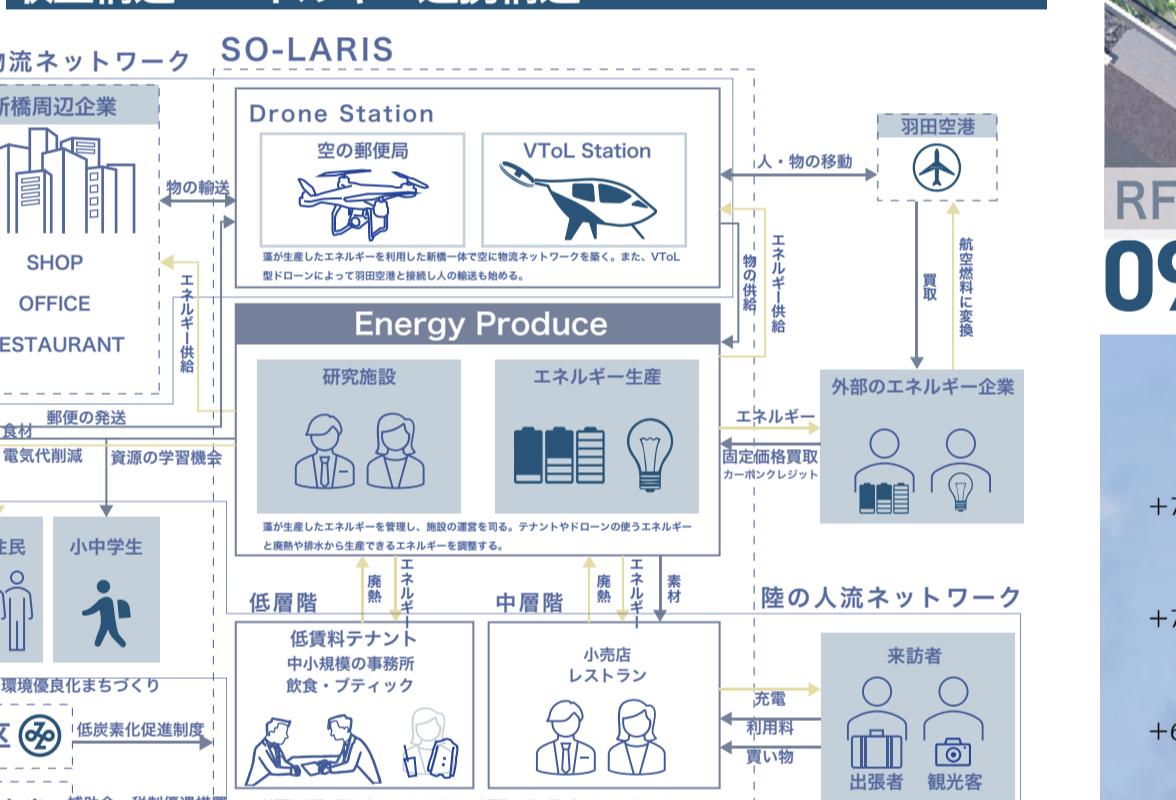
### 藻類のポテンシャル

昨今再生可能エネルギー対策で注目されているものが「藻類」である。廃熱や排水からエネルギーを生産でき、種類によれば食料や3Dプリンターの材料となる。この藻類が電気と並ぶ新たな「血液」として考えられる。

### 藻類 × 新橋による新たな関係性

新橋は様々な企業や属性の異なる人々と藻類の関わり合いによって、様々な価値を生むことができる。これらの多様な中の循環を建築と都市の中で提案し、新橋がこれから都市の在り方を発信する中心点となる。

## 04 SCHEME 収益構造・エネルギー連携構造



### 経済循環の中に新たなエネルギー循環

西新橋にある経済循環の中に藻類による循環があり込む。SO-LARISは空では物流を、陸では人流を、互いに新たなネットワークを形成しながら新橋に人・物・エネルギーを介する循環を生む起点となる。



## 09 SECTION 断面計画 - 藻類と物流が織りなす多層構造 -

